第6期恵庭市総合計画 第4回市民まちづくりワークショップ

日時:令和6年9月30日(月)18:30~20:30

場所:恵庭市民会館 大会議室

これまでのワークショップの意見をまとめた報告書の確認を行いました。 報告書は分野ごとに「10年後の恵庭市は〇〇を目指していくことが重要 そのためにわたしたち (市民・行政)は〇〇に取り組むことが重要」をまとめたものです。最後に、ファシリテーターを含む 参加者全員で、ワークショップの感想の共有を行いました。 10名のワークショップ委員の皆様にご参加いただきました。





報告書の内容確認 ①市民協働・共生

- 「違っている人たち」という表現ではなく、「多様性」などの言い方が良いのではないか
- ・町内会に縛られない広いつながり、コミュニティ
- ・さまざまな活動への積極的な参加とあるが、具体的な 検討・施策を考える。市民という主語がつく、市民の 行動の指針にもなるものである

【確認前】

10年後の恵庭市は

- みんなの声が届いているまち
- 世界を見てつながりあうまち
- コスモポリタンなまち
- 若い人も興味をもって参画できるまち

を目指していくことが重要と考えます。





そのために・・・

わたしたち(市民・行政)は、

- 市民と市が対話できる場づくり
- ・地域で顔のわかる関係を作り、人と人とが繋がり、挨拶をする
- ・さまざまな立場の人が参加しやすい町内会化を進め、高齢者、親世代、子世代をつなげる地域づくり
- ・違っている人たちとつながる機会を創出し、異なることを埋解し合う
- ・外国人を歓迎する心と異文化交流のための場の創出、教育機関の多言語、多文化対応とともに恵庭から世界で活躍する人の排出
- ・アイヌ民族や外国人との共生、ジェンダーやLGBTQなどへの理解
- ・さまざまな活動への積極的な参加

などに取り組むことが重要です。



- みんなの声が届いているまち
- 世界を見てつながりあうまち
- コスモポリタンなまち
- 若い人も興味をもって参画できるまち

を日指していくことが重要と考えます。





そのために・・・

わたしたち(市民・行政)は、

- ・市民と市が対話できる場づくり
- ・地域で顔のわかる関係を作り、人と人とが繋がり、挨拶をする
- ・さまざまな立場の人が参加しやすいコミュニティづくりを進め、高齢者、親世代、若者、子世代をつなげる地域づくり
- ・多様な人たちとつながる機会を創出し、異なることを理解し合う
- ・外国人を歓迎する心と異文化交流のための場の創出、多言語、多文化対応とともに恵庭から世界で活躍する人の輩出
- ・アイヌ民族や外国人との共生、ジェンダーやLGBTQなどへの理解
- ・さまざまな活動への積極的な参加

などに取り組むことが重要です。

_



報告書の内容確認 ②生活環境

- ・人が外に出やすい環境をつくる→市民が外出しやすい環境を つくる
- ・ライフサイクルに合わせて住み替えが出来る→このフレーズに 初めて触れる人にとっては、そこまで明確なイメージが できないのではないか、ライフステージに合わせた住環境と いう言い方がしっくりくると思う
- 「バスシステム」は公共に限らず、もっと広域な意味で 「交通システム」としてはどうか



【確認前】

10年後の恵庭市は

- 「でも恵庭ってさ~・・」がないまち
- 住みたいまちNo.1
- 環境にやさしい住まいとAIバスシステムのあるまち
- ▶ 近隣と力を合わせた防災に強いまち
- ゴミの行方を考えるキレイなまち

を目指していくことが重要と考えます。





そのために・・・

わたしたち(市民・行政)は、

- ・一人で頑張らなくても良い、地域を豊かにする環境づくり
- ・一人ひとりが防災の意識を持ち、協力し合える環境づくり
- ・ゼロカーボンシティの実現を目指し、環境について学ぶ機会を創出する
- ・人が外に出やすい環境を作るため、AIを利用した利便性の高い地域公共交通の整備
- 市民が安全で安心して生活できるよう、近隣のまちと連携した防災体制の構築
- ・ライフサイクルに合わせて住み替えが出来る、流動性を持ったまちづくり
- ・ごみや食品ロス0を目指し、"もったいないを大切に"する意識の醸成

などに取り組むことが重要です。

10年後の恵庭市は

- 「でも恵庭ってさ~・・」がないまち
- ▶ 住みたいまちNo.1
- ▶ 環境にやさしいまち
- AI交通システムのあるまち
- ▶ 近隣と力を合わせた防災に強いまち
- ゴミの行方を考えるキレイなまち

を目指していくことが重要と考えます。





そのために・・・

わたしたち(市民・行政)は、

- ・一人で頑張らなくても良い、地域を豊かにする環境づくり
- ・一人ひとりが防災の意識を持ち、協力し合える環境づくり
- ・ゼロカーボンシティの実現を目指し、環境について学ぶ機会を創出する
- ・市民が外出しやすい環境を作るため、AIを利用した利便性の高い地域交通の整備
- ・市民が安全で安心して生活できるよう、近隣のまちと連携した防災体制の構築
- ・ライフステージに合わせた住み方ができる、流動性を持ったまちづくり
- ・ごみや食品ロスの削減を目指し、"もったいないを大切に"する意識の醸成

などに取り組むことが重要です。

報告書の内容確認 ③子育て・教育

・地域「で」考える力を育てる人がたくさんいるまち→地域「に」考える力を育てる人がたくさんいるまちとしてはどうか





【確認前】

10年後の恵庭市は

- いろいろな考え方を「ゆるい」繋がりで見守り適度にサポートしてくれるまち
- 地域で考える力を育てる人がたくさんいるまち
- 自由な子育て、教育ができるまち

を目指していくことが重要と考えます。





わたしたち(市民・行政)は、

- ・こどもたちが自ら遊び、自ら学び多くの体験をすること、型にはまらない考え方を身につける、またそれを後押しする
- ・地域でこどもを育てる意識を持つ
- ・大人も学び続け、行動し続ける
- ・不登校や経済的に困窮、悩みを抱えている児童・生徒・家庭を支援するための"居場所"、"相談体制"をつくる
- 保護者への家庭教育支援
- ・地域、市民(団体)主体の活動への協力・支援
- ・こどもから高齢者まで全世代が集まれる施設、遊び場の整備
- ・本とふれあう機会の創出

などに取り組むことが重要です。

10年後の恵庭市は

- ▶ いろいろな考え方を「ゆるい」繋がりで見守り適度にサポートしてくれるまち
- ▶ 地域に考える力を育てる人がたくさんいるまち
- ▶ 自由な子育て、教育ができるまち

を目指していくことが重要と考えます。





そのために・・・

わたしたち(市民・行政)は、

- ・こどもたちが自ら遊び、自ら学び多くの体験をすること、型にはまらない考え方を身につける、またそれを後押しする
- ・地域でこどもを育てる意識を持つ
- 大人も学び続け、行動し続ける
- ・不登校や経済的に困窮、悩みを抱えている児童・生徒・家庭を支援するための"居場所"、"相談体制"をつくる
- ・保護者への家庭教育支援
- ・地域、市民(団体)主体の活動への協力・支援
- ・こどもから高齢者まで全世代が集まれる施設、遊び場の整備
- ・本とふれあう機会の創出
- などに取り組むことが重要です。

4

報告書の内容確認 ④保健・医療・福祉・スポーツ

- ・スポーツサービスについては、千歳市民プールを恵庭市民でも 市民料金で利用できるといった例がある
- ・「医療・スポーツの充実したサービスが受けられるまち」と すれば誤解なく伝わるのではないか



10年後の恵庭市は

- すでにみんなが活き活き元気なまち
- 人のぬくもりをかんじるまち
- ▶ 近隣のまちと共同で充実した医療・スポーツサービスが受けられるまち
- いくつになっても健康でいられるまちを目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち(市民・行政)は、

- ・医療、福祉従事者を育成し、安定した受け入れ体制を整える
- ・医療、介護、福祉分野等が連携する体制づくり
- 医療体制、医療機能が充実し、安心して生活できる環境づくり
- ・福祉を学ぶ場所、認知症などへの関わり方を知る場をつくり、正しく学び、理解に努め、困っている人に声をかける
- ・障がい・介護を支えている家族が集まれる場所をつくり、孤独感やストレスを抱えないよう支援する
- 福祉相談機関の一元化による重層的な支援
- ・誰もがスポーツをする機会を平等に得られ、またスポーツ活動が出来る場を整備する
- 健康増進のためにスポーツをする。
- ・健診、検診を積極的に受診し、自ら健康管理に努める
- ・子連れでも受診しやすい環境の整備や子と親がセットで検診を受けられる機会など幅広い受診機会の創出

などに取り組むことが重要です。



10年後の恵庭市は

- ▶ すでにみんなが活き活き元気なまち
- 人のぬくもりを感じるまち
- ▶ 近隣のまちと共同で医療・スポーツの充実したサービスが受けられるまち
- いくつになっても健康でいられるまちを

を目指していくことが重要と考えます。





そのために・・・

わたしたち(市民・行政)は、

- ・医療、福祉従事者を育成し、安定した受け入れ体制を整える
- ・医療、介護、福祉分野等が連携する休制づくり
- ・医療体制、医療機能が充実し、安心して生活できる環境づくり
- ・福祉を学ぶ場所、認知症などへの関わり方を知る場をつくり、正しく学び、埋解に努め、困っている人に声をかける
- ・障がい・介護を支えている家族が集まれる場所をつくり、孤独感やストレスを抱えないよう支援する
- 福祉相談機関の一元化による重層的な支援
- ・誰もがスポーツをする機会を平等に得られ、またスポーツ活動ができる場を整備する
- ・健康増進のためにスポーツをする
- ・健診、検診を積極的に受診し、自ら健康管理に努める
- ・子連れでも受診しやすい環境の整備や子と親がセットで検診を受けられる機会など幅広い受診機会の創出

などに取り組むことが重要です。

5

報告書の内容確認 ⑤産業・観光・まちづくり

- ・現在の自然環境→現在という言葉はなくていいのではないか 「いままでも」「これからも」という言葉の方がいい →これからも自然環境をいかし、自然に触れながら仕事もできるまち
- ・住民と自然を理解した企業の誘致
- ・市民と市役所職員が仕事を離れて一市民として集い、しゃべれる場(市役所居酒屋) づくり→市民と市役所職員が一市民としてしゃべれる場づくり
- ・市民が集え、市民が楽しめる場所づくりでは、市民に固定されている。 市民「も」としてはどうか →人が集い、市民も楽しめる場所づくり
- 10年後にはスキーやスケート以外のスポーツも出てくるかもしれないので、 「環境を活かした冬季スポーツ」としてはどうか

【確認前】

10年後の恵庭市は

- ▶ 産業と観光で人がたくさん集まるまち
- 現在の自然環境をいかし、ITベンチャー企業を誘致し自然に触れながら仕事もできるまち
- スポーツ・農で観光するまち

を目指していくことが重要と考えます。



そのために・・・

わたしたち(市民・行政)は、

- ・ITベンチャー企業をはじめとした企業、商業施設誘致を進め、波及効果によるまちの賑わいづくり
- ・市民が集え、市民が楽しめる場所づくり
- ・はなふるを拠点とした観光の推進
- 駅周辺の賑わいづくり
- ・スキーもスケートもできる環境を活かした冬季スポーツビギナーが集まるまち
- ・地産地消、飲食店等で恵庭産野菜を使用することによる地場産品PR
- 市民と市役所職員が仕事を離れて一市民として集い、しゃべれる場(市役所居酒屋)づくり
- ・情報発信等により、市外の人に恵庭の魅力を知ってもらう

などに取り組むことが重要です。



10年後の恵庭市は

- 産業と観光で人がたくさん集まるまち
- ▶ これからも自然環境を生かし、自然に触れながら仕事もできるまち
- 住民と自然を理解した企業の誘致
- ▶ スポーツ・農で観光するまち

を目指していくことが重要と考えます。





そのために・・・

わたしたち(市民・行政)は、

- ・ITベンチャー企業をはじめとした企業・商業施設誘致を進め、波及効果によるまちの賑わいづくり
- ・人が集い、市民も楽しめる場所づくり
- はなふるを拠点とした観光の推進
- 駅周辺の賑わいづくり
- ・環境を生かした冬季スポーツができるまち
- ・地産地消、飲食店等で恵庭産農畜産物を使用することによる地場産品PR
- ・市民と市役所職員が一市民として集い、しゃべれる場づくり
- ・情報発信等により、市外の人に恵庭の魅力を知ってもらう

などに取り組むことが重要です。

感想の共有①

- ・これからも市のことについて、例えば議会傍聴等に関心を 持っていきたい。本のまちづくり、環境に配慮したごみ 処理場、日本全国に誇れるようなすばらしいまちだと思う。
- ・こういう活動が計画に伝わることを初めて知った。函館から来たので、恵庭のことを全く知らなかったが、恵庭の方とたくさん話して学ぶことができた。地域活性化というところ、地域とのふれあい、ここで学んだことを大学で生かしたい
- ・こんなに恵庭のことを真剣に考えてくれる方たちがたくさん いるので、10年後もっとすてきなまちにできたらと思う
- ・みんなで考えたらすごくいい案が出ると思った。どのように 反映されるか楽しみ
- ・考え方の違いの勉強になった
- ・言葉や文章にすることの難しさを改めて感じた。恵庭市の ことを考える人が増えるきっかけになってほしいと思った
- ・とても面白かった。考え方をぶつけ合っていいものに していくのが民主主義の基本だと思う。興味も広がっていく。 こういう機会が今後もあったら参加したい



感想の共有②

- ・アウトプットができたのがよかった。次何しようかなとか、次こういうことができそうだなという考えが生まれてくるのが面白いなと思いました
- ・いろんな人がいろんな考えを持っていることに関心した
- ・年齢を超えてもやっていることは一緒だし、関わっているその 広さが違っても、思っていること、やりたいことはやはり一緒 なのだなというのを今日気づけたので、よかったなと思いました
- ・さまざまな年代の方がいろいろな分野でいろいろな意見を出して、 こうやって恵庭市は進んでいっているのだなというのをすごく 感じた
- ・皆さんの熱意をたくさん見て、私も何か考えようと思いました
- ・このような会議の形は意見を出す方法としてとてもいいと 思うので、市役所でも広がっていけばいいと思う





市民まちづくりワークショップで検討を 重ねた事項について、完成した報告書を 市長に提出します。



R6.9.30撮影



市民まちづくりワークショップ委員(18名)

- ・金子 徹志
- ・前田 一哉
- ・石上 一美
- 髙橋 隼
- ・芳賀 貢
- •鳴海 幸恵
- ・吉田忠
- ・奥澤蘭
- ・成田 良恵

- ・藤原 百合子
- ・杉本 貢
- ・新保 佳代子
- ・ブランド リー サンチェス タンプス
- ・山本 亮太
- ・阿部 梨子
- ・音島 純子
- ・松本 李奈
- ・勝又みさ都

(順不同・敬称略)